

【生活、総合的な学習の時間、特別活動】

■ 地域の財産（宝＝自然環境、地域人材）を活かした体験活動

★活動に関連する目指す子ども像

「地域の海や水産資源と環境の結び付きを理解する子ども」
「地域のよさを知り、地域の発展に貢献できる子ども」

□ 活動の概要



地域の海についての探究的な学習を通して、地域の海、水産資源、環境の関連を理解し、環境保全について自分たちができることを見いだすことをねらいとして、第1・2学年では生活科、第3～6学年では総合的な学習の時間に、地域の海や水産資源など自然環境を活かした環境教育を実施しています。

□ 活動の具体

- ・全校児童で藻散布海岸に打ち上がっているごみを拾うなど、海岸清掃活動を実施するほか、第5・6学年は、ごみ問題に関する発表を行い、自分たちの暮らしと海辺の環境のつながりについて考える活動を行っています。
- ・地域人材の協力を得て、児童が様々な海辺の生き物を観察したり、正式な名称や生態を調査したりするなど、地域の海について理解を深める体験活動を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・各教科等の学習活動の充実が図られるよう、環境教育を中心に教科等横断的な指導計画を立てて実施しています。
- ・年間を通して、専門的知見をもった講師の協力のもと、児童が主体的に学べるようにするとともに、地域の方々に学びを発表する場を位置付けるなど、地域や学校行事と関連を図った学習を計画しています。